

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会やボランティア団体の協力を得て、施設行事を行っている。町内の運動会など、行事には全て参加している。施設の情報誌”フレンズニュース”を町内会に回覧し配布する等して地域住民と関わり、入所者が地域になじむように意識して支援している。	○
重点項目②		評価
	運営推進会議には、民生委員、町内会役員等、グループ内他事業所のホーム長、医師などが参加して行われており、行事案内、状況報告などを行っている。行政の担当者や地域包括支援センター職員は参加していない。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	2か月に1度、港区事業者連絡会に参加し、情報交換している。区役所の保護係とも、密接に連絡を取り合っており、サービスが円滑に提供されるように努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	介護計画作成時及び変更時、通院・面会などの機会に利用者やご家族からの意見や要望を聞くなどして、反映させるよう努力している。年2回、職員からの提案等も聞き、運営に反映させている。申し送りノートを回覧して活用している。施設情報誌”フレンズハウス”を毎月家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

都市化の進む市街地に立地し、交通のアクセスにも恵まれた環境にある。町内会の行事に参加し、施設行事は、地域住民の協力を得て運営されている。入所者は、地域住民と自然な形で関わりを持つように支援されており、地域に馴染んで暮らしている。医療面では、常時訪問看護の支援による対応が可能のため、終末期でも安心して過ごせる。併設のデイサービスセンターでは地域住民も参加した施設行事が定期的に行われ、それぞれ生活の場が違う利用者が一緒に楽しく過ごせる”憩いの場”を提供する取り組みが行われている。

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の  
実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域 のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営 推進会議 を活かし た取り組 み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町 村との連 携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営 に関する 利用者、 家族等意 見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。